

平成29年10月26日

～ 駅施設の利便性向上を目指して ～

「オープン型宅配便ロッカー」を新たに2駅に設置します

- 自宅に不在で荷物を受け取れなかった際、駅の宅配便ロッカーを受取場所に指定できます
- 11月1日（水）から香里園駅・牧野駅に設置し、設置駅は合計6駅になります

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：中野道夫）では、「オープン型宅配便ロッカー（無人受取りサービス）」での荷物受取りサービスを実施していますが、平成29年11月1日（水）より、新たに香里園駅と牧野駅の2駅でサービスを開始します。今回の設置で、合計6駅に設置することになります。

「オープン型宅配便ロッカー」は、パックシティ ジャパン Packcity Japan株式会社（※）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：リュケ・ジャン・ロラン）が展開する、複数の宅配事業者が共同で利用できるロッカーです。平成28年8月に関西の駅構内で初めて設置し、守口市・寝屋川市・枚方市・樟葉の4駅ではヤマト運輸株式会社及びDHL ジャパン株式会社の宅配便に対応しています。今回設置する香里園・牧野の2駅では、ヤマト運輸株式会社の宅急便のみ対応可能ですが、今後、他の宅配事業者の荷物の受け取りも可能になる予定です。

今後も当社では、駅施設の利便性向上を追求し、暮らしやすい沿線づくりを推進してまいります。

詳細は別紙のとおりです。

（※）ヤマト運輸株式会社がフランスの運送会社（ネオポスト SHIPPING 社）とともに設置した合弁会社



オープン型宅配便ロッカー（寝屋川市駅）

(別紙)

オープン型宅配便ロッカーの概要

(1) サービス開始

平成29年11月1日(水)

(2) 設置駅

香里園駅 改札外コンコース (屋外型 3列仕様)

牧野駅 バスロータリー前 (屋外型 4列仕様)

(3) 宅配便ロッカー名称

PUDO (プドー) ステーション

※「PUDO」は「Pick Up & Drop Off station」の略称です

(4) 利用宅配事業者と取扱荷物種別

ヤマト運輸株式会社「宅急便」

※守口市・寝屋川市・枚方市・樟葉駅では、DHL ジャパン株式会社の宅配便にも対応しています

(5) 利用料金

無料

(6) 利用日

年中無休

※利用可能時間は駅によって異なります

(ご参考) 各駅の設置状況

駅名	設置場所	利用可能時間	利用可能宅配事業者	合計口数
守口市	西改札口外 O1号階段横	始発～終電	ヤマト運輸・DHL ジャパン	27口
寝屋川市	南改札口外 西ロータリー側	24時間	ヤマト運輸・DHL ジャパン	20口
香里園	改札口外 コンコース	24時間	ヤマト運輸	20口
枚方市	中央改札口外 4号階段前	始発～終電	ヤマト運輸・DHL ジャパン	27口
牧野	バスロータリー前	始発～終電	ヤマト運輸	30口
樟葉	改札口外 定期券売場横	始発～終電	ヤマト運輸・DHL ジャパン	27口

以上